

安全上のご注意

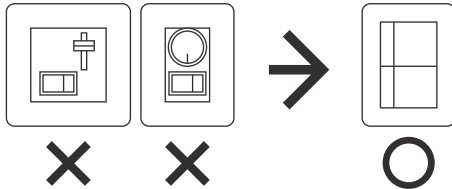
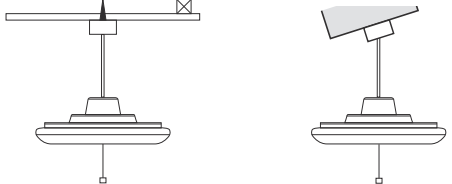
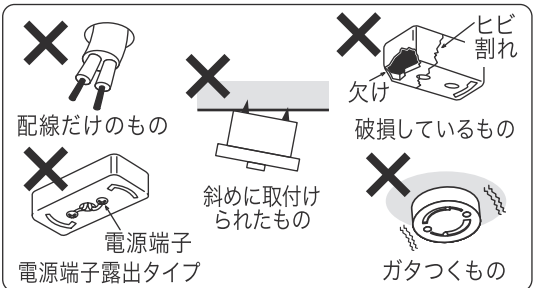
必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。（下記は図記号の一部です）

 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	  してはいけない内容です。
 注意 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。	 必ず実行していただく内容です。

警告	
必ず守る	■壁スイッチ ●調光機能がついた壁スイッチの場合は一般用の入切用スイッチに交換する。 火災のおそれがあります。 5ページ  ◎販売店、工事店に交換を依頼してください。 (交換には資格が必要です。)
	分解禁止 ●器具を改造したり、部品交換したりしない。 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 ●本体の取り付けは、取扱説明書に従い確実に 行なう。 ●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶ せたりしない。 火災の原因になります。 ●交流100ボルトで使用する。 過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそ れがあります。 ●煙、臭いなど異常を感じたら、すぐに電源を 切る。火災、感電のおそれがあります。 ●異常・故障時は直ちに使用を中止する。 速やかに電源を切り、お買い上げの販売店へ 点検・修理を依頼してください。 ●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般 の入切用スイッチに交換する。 火災のおそれがあります。※スイッチの交換 には資格が必要です。販売店、工事店に交換 を依頼してください。 ●取り付け、取り外しやお手入れの際には、必 ず主電源を切る。 主電源を切らないと、感電の原因となることが あります。 ●本体のすき間に金属(ヘアピン・針金・クリッ プなど)を差し込まない。 火災、感電の原因となります。 ●スイッチの操作のひもなどに無理な力をか けない。 落下によるけがのおそれがあります。 ◎引きひもにぶらさがったりしないでください。
禁止	必ず守る ■取付面 ●次のような場所には取り付けない。 火災、感電、落下によるけがのおそれ があります。 ・補強のない場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど) ・傾斜した場所  ◎この器具は水平天井面吊り下げ専用です。 5ページ ●がたついたり、破損している配線器具(ロー ゼット・引掛シーリング)には取り付けない。 火災、感電、落下によるけがのおそれがあり ます。 5ページ 

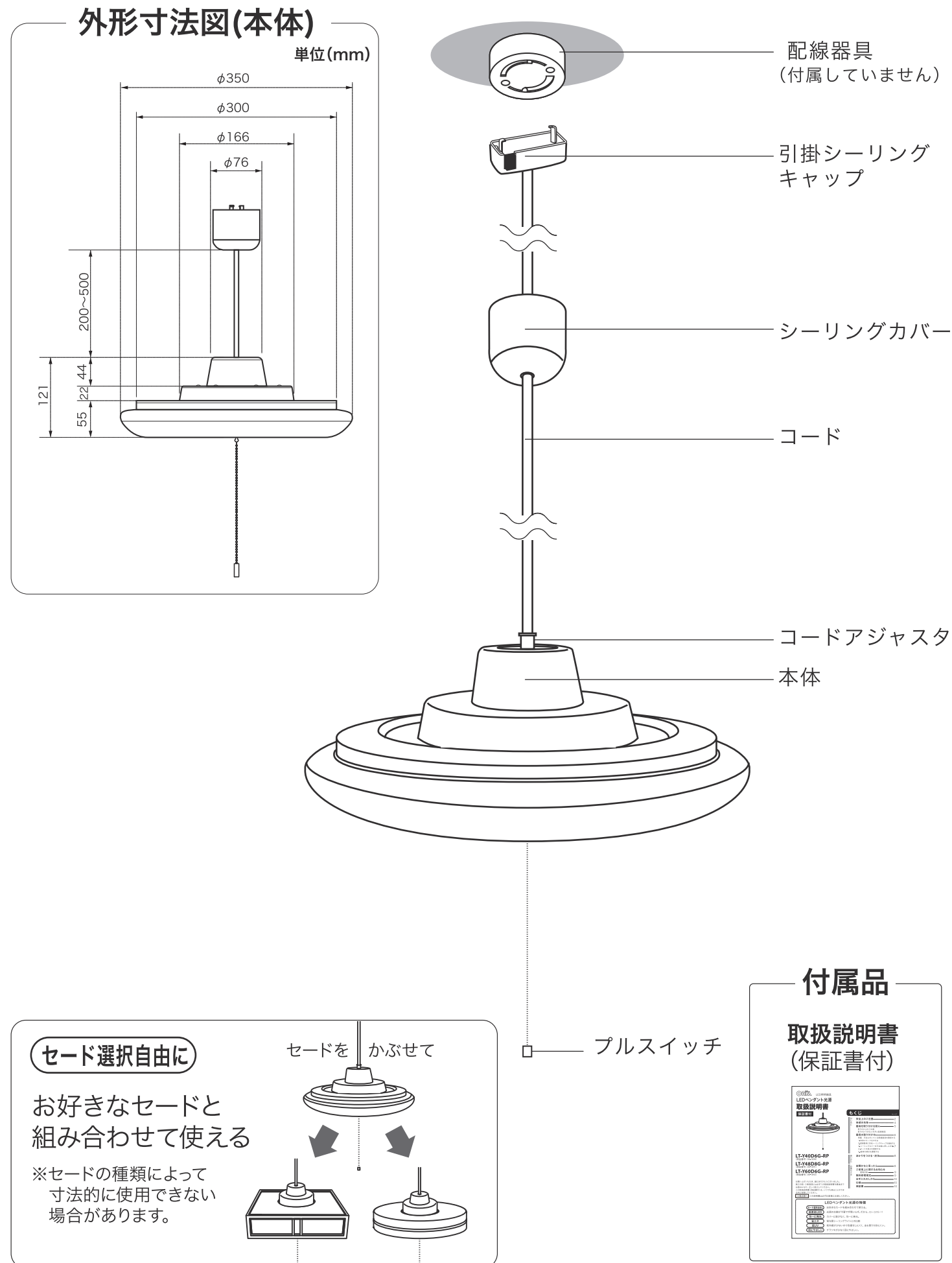
 注意	
 禁止	●本体が一部破損したまま使わない。 使用を中止し、修理を依頼してください。 ●温度が高くなるものを器具の下に置かない。 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かないでください。火災、本体の変形、落下のおそれがあります。 ●点灯しているLEDを直視しない。 目に悪影響をおよぼすおそれがあります。 ●この器具は屋内（5℃～35℃）専用です。 屋外では使用しない。 屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。
	 必ず守る
 接触禁止	●点灯中や消灯直後は、本体が熱いので触れない。 やけどのおそれがあります。
 水ぬれ禁止	●浴室などの湿気の高い場所や屋外で使用しない。 火災・感電の原因になることがあります。 ●本体を水洗いしない。 感電、故障の原因になります。

使用上のご注意

- ラジオやテレビなどの音響及び映像機器の近くでご使用の場合、雑音が入ることがあります。
- 天井の取り付け面の構造や材質により、取り付け面が変色等を起こす場合があります。

各部の名称

図は一部簡略化した部品図です。



器具を取り付ける前に

取り付け上のご注意

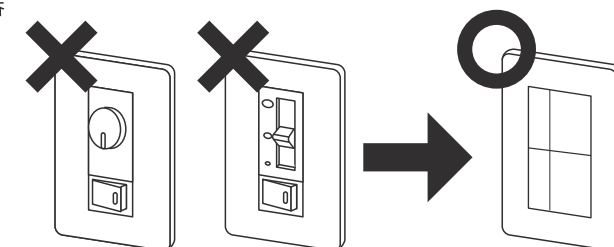


警告

■壁付調光器のある回路では使用しない。

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり、使用できません。

右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。



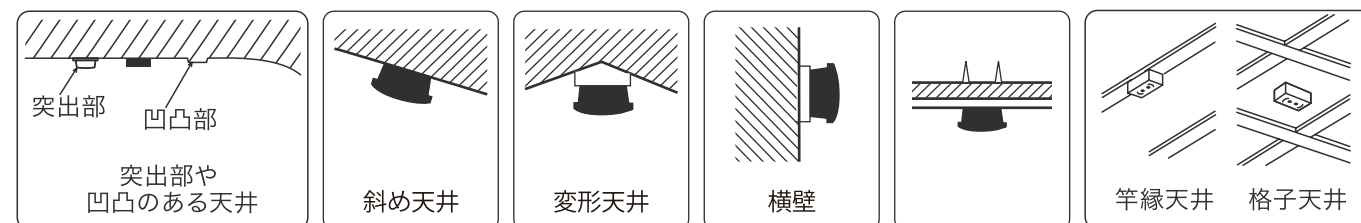
調光器付壁スイッチ代表例

調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。
(交換には資格が必要です。)

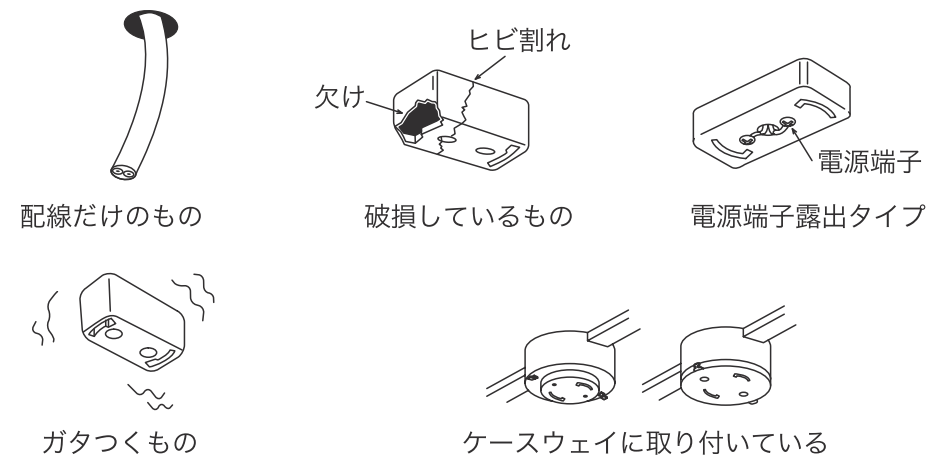
取り付けできない天井と配線器具

■下図の天井には取り付けできません。

- 傾斜した場所・変形した場所・横壁に取り付けない。
落下によるけがのおそれがあります。
- ベニヤ板などの強度の弱い場所に取り付けない。
落下によるけがのおそれがあります。



■下図の場合は、電気工事店か 販売店にご相談ください。



■引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下するおそれがあります。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

器具の取り付け方

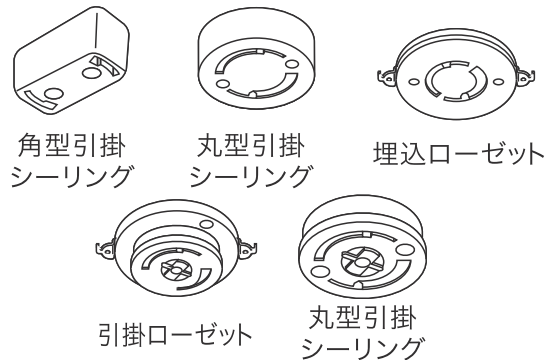
安全のため、壁スイッチなどの主電源を切り、器具の取り付けを行ってください。

準備

天井に付いている配線器具を確認する

これ以外の特殊な引掛シーリングには取り付けできません。
販売店（工事店）にご相談ください。
※配線器具にガタつきや破損が無いことを確認してください。

天井に右図のような器具が取り付けられている場合、取り付けができます



配線器具に引掛シーリングキャップを接続する。

時計回りに回して確実に取り付ける。

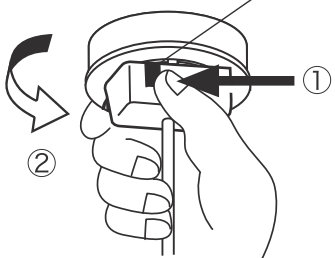


チェック2

取り付け後、ボタンを
押さずに反時計回りに回して、
外れないことを確認する。

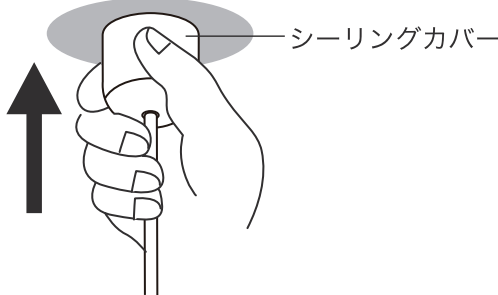
取り外し方

- ① ボタンを押しながら
- ② 反時計回りに回す



シーリングカバーを天井面に押し上げる

配線器具と引掛シーリングキャップが見えないように、コードを持ってシーリングカバーを押し上げてください。



注意 ●落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

コードの長さを調節する

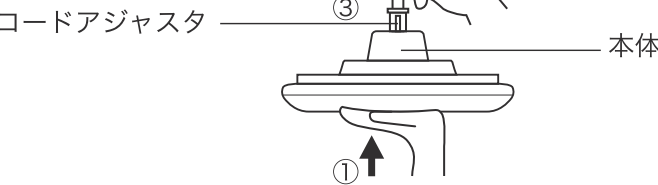
(短くする場合)

- ① 本体を支える。
- ② 本体内にコードを押し込む。
- ③ 長さ調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。

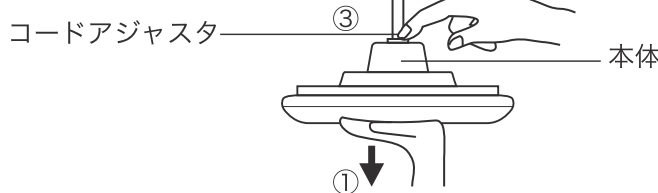
(長くする場合)

- ① コードアジャスタを押える。
- ② 本体を押し下げる。
- ③ 長さ調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。

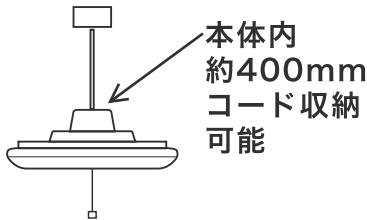
(短くする場合)



(長くする場合)



コード長さ調節可能範囲



器具の傾きの調整をする

●コードアジャスタが傾いていると、器具の傾きの原因になります。
コードアジャスタをつまみながら、器具が水平になるように調整してください。

●コードを最後まで引き上げると、コードアジャスタが傾きやすくなります。
コードを少し押し込んで、まっすぐになるようにコードアジャスタを引き上げてください。

